

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館
2019 年 9 月 1 日
9 月号 (隔月発行)

Vol.13

厳しい暑さもようやくやわらぎ、ほんの少し秋の気配を感じる季節がやってきました。

今月の「シリーズ 図書館でめぐる郷土」では、「河内木綿」をご紹介します。江戸時代、河内は綿の生産が盛んに行われていました。これには「Ryu's Paper vol.8」で紹介した大和川の付け替えが深く関わっています。

シリーズ 図書館でめぐる郷土

かわちもめん 第十三回 『河内木綿』

江戸時代から明治時代の初めにかけて、河内地方で栽培された綿から糸を紡いで手織りされた木綿は、山根木綿、久宝寺木綿、三宅木綿などの名で知られていました。これらを総称して「河内木綿」と言います。

日本で綿が広く栽培されはじめたのは、15 世紀末頃の戦国時代と言われています。当時木綿は朝鮮半島から輸入されていましたが、新しい衣料として広まるにつれ、木綿の原料となる綿も日本の各地で作られるようになりました。この時期の木綿はまだ貴重品で、庶民が着るものではありませんでした。

17 世紀ごろには河内での綿栽培や木綿生産が盛んに行われていたことが、いくつかの記録で明らかになっています。寛永 15 年(1638 年)には、俳諧書の手引きとして松江重頼が編纂した『毛吹草』の中で、河内の特産品のひとつとして「久宝寺木綿」が紹介されています。

さらに 18 世紀の初め、宝永元年(1704 年)に大和川が付け替えられると、それまでの川床は畑として生まれ変わり、綿づくりはますます盛んになりました。旧川床を利用した畑は、砂地で水はけがよく綿栽培に最適だったためです。この頃になると、八尾や久宝寺などの在郷町や周辺の村々に木綿を扱う商人たちが増え、仕入れや販売の競争が激しくなってきました。宝暦 5 年(1755 年)には、八尾の木綿商人仲間と高安山麓の木綿商人仲間が商売についての厳しい取り決めをしている記録が残されています。

河内の綿は織り上げた布地が厚く耐久性に優れていたため、庶民の普段着のほか、暖簾、のぼり、蒲団地などに重宝されるようになりました。

明治に入ると、外国から繊維の長い綿や細い糸が安価でたくさん輸入されるようになり、工場の機械で一度にたくさんの糸が紡げるようになりました。繊維が短く糸が太いため、機械で紡ぐことに適さない河内木綿は衰退してゆき、明治 30 年(1897 年)代には、産業としての河内木綿は終わりを迎えます。

河内木綿の文様や柄は多種多様で、美しいものがたくさんあります。特に縞柄は「河内縞」という言葉があるほど河内木綿の特徴のひとつとなっています。また、型染による紺地に菊花唐草文などの文様もよくみかけます。さらに婚礼の際の蒲団地には、絵の心得のある染織職人が鳳凰や鶴亀などの絵柄をフリーハンドで豪快に描くこともありました。江戸時代には美よりも実用性に重きを置かれた河内木綿ですが、今日ではその美しさに改めて注目が集まっています。



参考資料

『河内木綿譜』 1981 年 5 月 西武百貨店

『河内の綿作りと木綿生産』 2002 年 3 月 八尾市立歴史民俗資料館

『河内木綿—歴史と資料—』 2007 年 10 月 八尾市立歴史民俗資料館

『河内木綿—綿から木綿ができるまで—』 2013 年 4 月 八尾市立歴史民俗資料館

『河内木綿—河内から近江、そして最上へ—』 2017 年 10 月 八尾市立歴史民俗資料館

【右下写真】八尾市立歴史民俗資料館
河内木綿まつりキャラクター「わたやん」

9月のTopics&Information



-Topics

隠れた本棚「書庫」



OPAC で本を検索すると「職員まで(書庫)」と表示されるのを見たことはありませんか?書庫は龍華図書館の2階にあります。普段は施錠されていて、スタッフでなければ出入りできません。どんな資料があるのでしょうか…?

書庫には、新聞や雑誌のバックナンバー(保存期間は1年)や貴重な郷土資料、情報の古い旅行書、貸出が少ない資料などがあります。また、同じ資料が2冊以上ある場合、1冊を皆さんが閲覧できる棚に並べ、残りを書庫に入れています。

「古い」「貸出が少ない」と聞くと、良い印象ではないかもしれませんが、今は流通がなくても貴重な内容の資料がたくさんあります。そのような資料を書庫に保管しています。

「職員まで」とOPACに表示されたら、お気軽にスタッフまでお申しつけください。OPAC 台には、タイトルや資料番号を書くための専用の用紙もご用意していますので、是非、ご利用ください。



お探しの本があれば、こちらの用紙に記入しカウンターへお持ちください。

タイトル	
資料コード	
請求記号	

-Information 講座のご案内

コミュニケーションスキルアップ講座

- 日時… 2019年9月23日(月・祝)
- 時間… 14:00～15:30
- 場所… 龍華コミュニティセンター3階 集会室
- 対象… どなたでも
- 定員… 50人



帝塚山大学から谷口淳一氏をお招きし、心理学の見地から、対人コミュニケーションを円滑にするコツなどをお話しいたします。

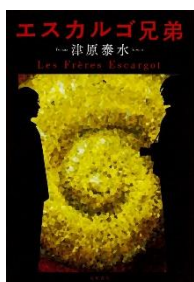
『「感情」の解剖図鑑』

苫米地 英人/著



怒り、悲しみ、不安、喜び、興奮、感動…。あらゆる感情を、脳科学的な観点に加え、社会学、人類学的な観点から徹底解剖。コーチング理論や瞑想法などのメソッドを駆使して、人生を好転させる「感情の使い方」を伝授する。【TRCマークより】

今月の一冊はコレ!



「エスカルゴ兄弟」

津原 泰水 著/角川書店

黒い地色に、赤い文字。エスカルゴの奇妙なうずまき…。「もしかして、怖い話?」と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。

主人公は突如、編集者をクビになり、何故か料理人として次の職場を斡旋されます。そこで待っていたのは若手写真家の秋彦。うずまきの形を偏愛する彼とエスカルゴ料理店を立ち上げることになります。カギになる食べ物はエスカルゴではなく、まさかのうどん!?

個性豊かな登場人物が織りなす、痛快グルメコメディです。ミステリアスな表紙とのギャップが楽しい、ステキな1冊です!

発行・編集

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45

TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057

ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね!してください。

